



会社概要

会社名：谷口運送株式会社
 所在地：東京都品川区
 代表者：安田 行男
 設立：1949年2月
 社員数：約320名
 車両台数：198台(トレーラ含)
 事業内容：自動車部品の生産物流
 運送(60%)作業(17%)梱包
 (12%)倉庫(9%)その他
 (2%)

取り組んで良かったこと

従業員が「ウチの会社は良いことに取り組んでいる」という意識を持つことができ、会社を好きになってくれたこと

苦勞(工夫)したこと

特別なことを新規で取り組むのではなく、企業で習慣化している取り組みがSDGsに繋がっていることで、日常的に行っている行動を少し変える、意識を変化させることが難しく、SDGsとの関わりの見える化や用語が飛び交うコミュニケーションを取ることで自然と習慣化していくことが重要と感じています。

社外への発信

HPIにSDGsのコーナーを掲載するとともに、社内報での啓もう活動も実施しています

Web : <http://www.taniguchiunso.co.jp>

社内報：NEW MINI CARRY

「私たち谷口運送のSDGs」のコラム



Web

荷主企業・サプライヤーへのメッセージ

当社ではSDGsを通じて環境では環境負荷を認識し負荷低減を、社会では人を大切にすることで成長し、経済では新しい価値を追求し続ける会社を目指そうと考えております。100年企業が次の100年を創造するために取り組んでおります。

第113号 谷口運送株式会社 社内報 NEW MINI CARRY (5/5)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs (エスディージーズ) は「Sustainable Development Goals」の略称で、日本語に直訳すると「持続可能な開発目標」という意味をもちます。SDGsは2030年までに達成すべき17の目標が掲げられており、これらは2015年に採択された国際開発目標において採択されました。

第1回 私たち谷口運送のSDGs

今取り上げる取り組みはエコドライブ(省燃費運転)です。
 環境と社会の両方の負荷低減を認識し負荷低減を全社
 私たち運送業者は業務上、CO2(二酸化炭素)を大量に排出しています。前々期(2021年10月~2022年9月)の自社軽油購入量が約1,996㎥となり、CO2排出量換算約5,150t-CO2(Scope1)となります。自社の身近な台数の台数を協力企業に業務委託しており、その排出量に対する責任を常に痛感しています。

環境に配慮したCNG・LNG車やハイブリッド車の大型車両も発売されていますが、削減効果はあるものの一長一短があるのが現状です。水素電池や電気自動車は技術的にまだまだ先の話になります。そこで私たちから先ず出来ることは、省エネ運転になります。谷口運送では「エコドライブ10の心」を配布、掲示するとともに、全車に「MIMAMORI」(いすゞ自動車製デジタルタコメーター)を搭載し、アドリフストップや速度、急発進、急加減、急減速を日々管理し燃費の向上に努めています。その事は同時に事業の生命線とも言える安全運転にとっても極めて重要な取り組みとなっています。また通勤時にも省エネ運転や公共交通機関を推奨しています。

私たち谷口運送は全社一丸となってSDGsの環境負荷低減に取り組んでいます。

7 気候変動に具体的な対策を

11 持続可能な都市とコミュニティ

12 つくばない、減らす、リサイクル

エコドライブ10の心

環境保護のため、自動車の二酸化炭素の排出量を極力少なく抑えるために、次の10項目を念頭に運転するよう心がけて下さい。
 安全運転にとっても極めて重要な事項です。

- ① 無用なアイドリングをやめる。(アイドリングストップ)
- ② 経済速度で走る。
- ③ 急減・急加速を避け、タイヤの空転圧を適正にする。
- ④ 無駄な(必要のない)荷物は積まない。
- ⑤ 無駄な空ぶかしをやめる。
- ⑥ 急発進、急加減、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる。
- ⑦ マニュアル車は早めにシフトアップする。
- ⑧ 洗車などを済ませ、違法駐車しない。
- ⑨ エアコンの使用を控える。
- ⑩ マイナーの利用者は、相乗りに努める。
 また、可能な限り公共交通機関を利用する。

Carry the Future
 ~100年企業が100年先を創造する~
 2023.10.01
 SDGs 始めました!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS